

CSIS Discussion Paper No. 102

仕事と子育ての両立と保育所アクセシビリティに関する

アンケート調査報告書

Survey Report on Balancing Work and Child Rearing and
Accessibility to Child-Care Centers

河端瑞貴

Mizuki Kawabata

東京大学空間情報科学研究センター

Center for Spatial Information Science, The University of Tokyo

Email: mizuki@csis.u-tokyo.ac.jp

2010年1月

本調査は、科学研究費補助金若手研究（B）「ワーキングマザーの仕事と子育ての両立における保育所アクセシビリティの重要性」（課題番号：20710111、研究代表者：河端瑞貴）、および科学研究費補助金基盤研究（B）「新経済地理学に基づいた、規模縮小時代の都市・地域政策の研究」（課題番号：20330045、研究代表者：高橋孝明）の助成を受けた。ここに感謝の意を表する。

< 目 次 >

I. 調査概要	4
1. 調査目的	4
2. 調査実施概要	4
3. 調査結果の見方と注意点	4
II. 調査結果	5
1. 基本属性	5
(1) 年齢〔Q2〕	5
(2) 居住区〔Q3〕	5
(3) 同居の子の人数〔Q5〕	6
(4) 末子の年齢〔Q6〕	6
(5) 配偶者・パートナーとの同居状況〔Q7〕	6
2. 就労の現状と希望	7
(1) 配偶者・パートナーの就労形態〔Q8〕	7
(2) 末子を出産する直前（1年以内）の就労形態〔Q9〕	7
(3) 現在の就労形態〔Q10〕	9
(4) 希望する就労形態〔Q11〕	12
(5) 現在の1週間あたりの平均的な就労時間〔Q12〕	14
(6) 希望する1週間あたりの平均的な就労時間〔Q13〕	14
(7) 希望する就労形態・時間を実現できない理由〔Q14〕	16
3. 末子の保育所の利用状況と希望	17
(1) 末子の保育所の利用状況と入所状況〔Q15〕	17
(2) 末子のために利用している保育所・保育サービス〔Q16a〕	19
(3) 末子のために最も希望する保育所・保育サービス〔Q16b〕	20
(4) 希望する育児と就労を実現するために必要な保育サービス〔Q16c〕	21
(5) 育児と就労を両立するために拡充してほしい保育サービス〔Q17〕	22
(6) 利用している保育所・保育サービスに対する希望する保育所の質〔Q18〕	22
(7) 利用している保育所・保育サービスに対する希望する保育所の保育料〔Q19〕	23
4. 保育所の入所可能性と待機児童期間の状況	23
(1) 居住地の保育所の入所可能性〔Q20〕	23
(2) 待機児童期間の就労状況〔Q21〕	25
(3) 待機児童期間の仕事と育児の両立状況〔Q22〕	26
5. 保育所の自宅・職場からの近接性の重要度	27
(1) 保育所選定時における自宅・職場からの近接性の重要度〔Q23〕	27

6. 通勤の片道所要時間と交通手段	28
(1) 本人と配偶者・パートナーの片道通勤時間〔Q24〕	28
(2) 本人と配偶者・パートナーが通勤に利用する主な交通手段〔Q25〕	28
7. 保育所送迎の主な担当者、交通手段、片道所要時間の現状と希望.....	29
(1) 保育所送迎を主に担当する人〔Q26〕	29
(2) 普段の日と天候の悪い日の保育所送迎に利用する主な交通手段〔Q27〕	29
(3) 利用している保育所と希望している保育所の片道通所時間〔Q28〕	31
(4) 現実的で望ましい保育所の片道通所時間〔Q29〕	32
Ⅲ. アンケート調査票.....	33

I. 調査概要

1. 調査目的

超少子高齢化、労働力人口の急速な減少に直面する日本において、仕事と子育ての両立支援は重要な政策課題となっている。しかし、近年、保育所に入りたくても入れない「待機児童」が爆発的に増加しており、深刻な社会問題となっている。厚生労働省の「保育所の状況（平成21年4月1日）等について」¹によると、待機児童は都市部に多く、都道府県別では東京都が最も多い。そこで、東京23区に在住する末子が未就学児の女性を対象に、仕事と子育ての両立および保育所アクセシビリティに関わる状況や希望を調査した。

2. 調査実施概要

本調査は、次のように実施した。

- (1) 調査地域：東京23区
- (2) 調査対象：末子が未就学児の女性
- (3) 調査手法：インターネット調査（(株)日経リサーチに委託）
- (4) 対象者抽出ソース：日経リサーチアクセスパネル
- (5) 調査対象者数： 設定数 650人 回収数 311人
- (6) 調査時期：2009年11月20日（金）～2009年11月25日（水）

3. 調査結果の見方と注意点

- 1) [] 内（[Q2] など）は調査票の質問番号に対応する。
- 2) 図中の「n」は該当質問での有効回答者数を表す。また、「単数回答」は質問に対する回答が1つの質問、「複数回数」は質問に対する回答がいくつでもよい質問、「3つまで複数回答」は、質問に対する回答が3つまでの質問を表す。
- 3) 回答比率は、「n」を100%として百分率で算出した。少数点以下第2位を四捨五入しているため、文中の百分率の合計が図中の数値と一致しないことがある。
- 4) 複数回答が可能な質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- 5) 便宜上、フルタイム勤務は週5日、40時間以上勤務とした。

¹ 厚生労働省（2009）「保育所の状況（平成21年4月1日等について）」（<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/09/h0907-2.html>）。

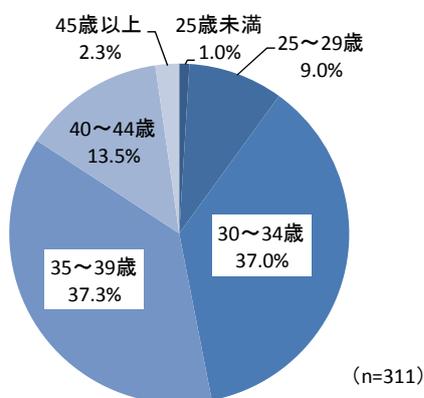
Ⅱ. 調査結果

1. 基本属性

(1) 年齢 [Q2]

対象者（東京 23 区在住の末子が未就学児の女性）の年齢構成をみると、「30～34 歳」（37.0%）と「35～39 歳」（37.3%）を合わせて 74.3%を占めている。次いで、40 代前半の「40～44 歳」（13.5%）、20 代後半の「25～29 歳」（9.0%）の順となっている。

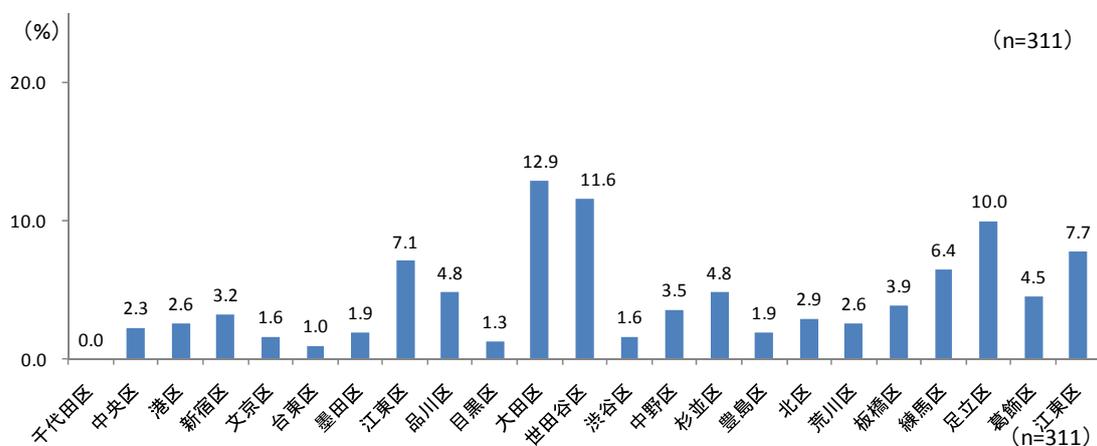
図 1-1 年齢構成（単数回答）



(2) 居住区 [Q3]

居住区をみると、「大田区」（12.9%）、「世田谷区」（11.6%）、「足立区」（10.0%）が比較的多く、「千代田区」には対象者がいないが、全体的に幅広く分布している。

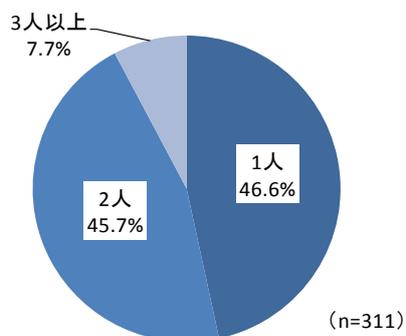
図 1-2 居住区（単数回答）



(3) 同居の子の人数【Q5】

同居している子の人数は、「1人」(46.6%)と「2人」(45.7%)で9割以上を占め、「3人以上」が7.7%となっている。

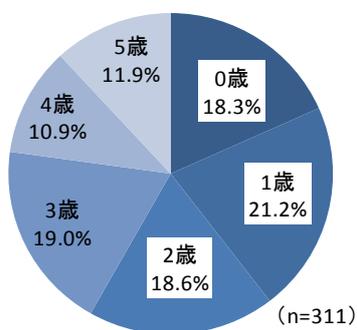
図 1-3 同居の子の人数 (単数回答)



(4) 末子の年齢【Q6】

末子の年齢は、0~3歳の各歳が2割前後、4歳と5歳がそれぞれ約1割となっている。

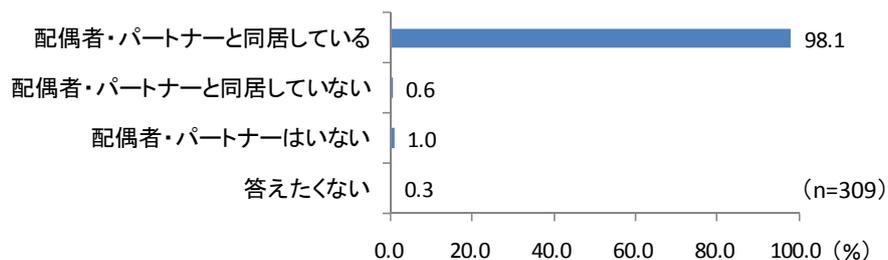
図 1-4 末子の年齢 (単数回答)



(5) 配偶者・パートナーとの同居状況【Q7】

配偶者・パートナーとの同居状況については、「配偶者・パートナーと同居している」が98.1%と非常に高い割合を占めている。

図 1-5 配偶者・パートナーとの同居状況 (単数回答)

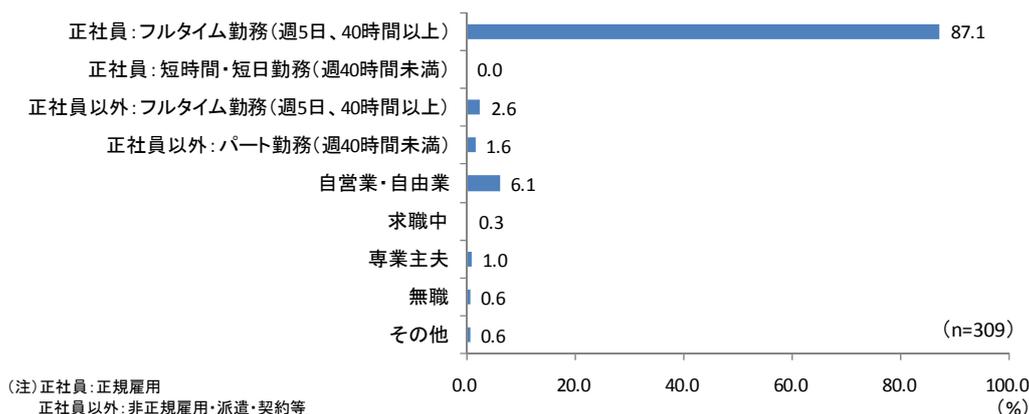


2. 就労の現状と希望

(1) 配偶者・パートナーの就労形態〔Q8〕

配偶者・パートナーの就労形態については、「正社員：フルタイム勤務」が87.1%と大多数を占め、次いで、「自営業・自由業」(6.1%)となっている。

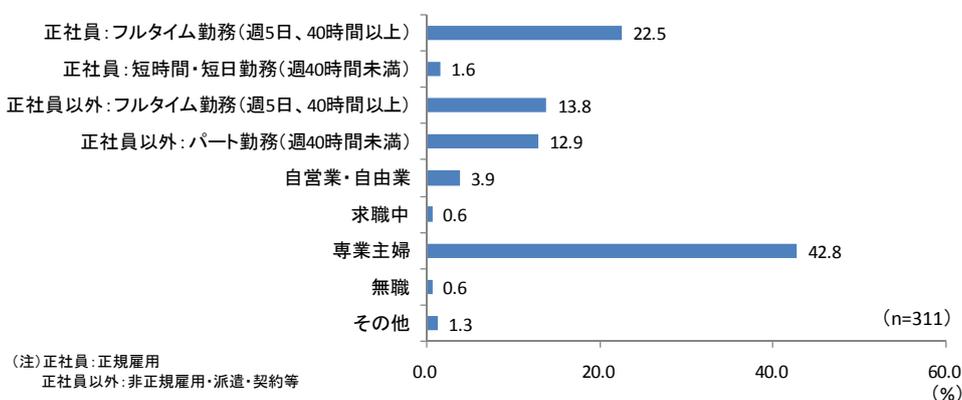
図 2-1 配偶者・パートナーの就労形態（単数回答）



(2) 末子を出産する直前（1年以内）の就労形態〔Q9〕

末子を出産する直前（1年以内）の就労形態については、仕事をしてきた人（正社員、正社員以外、自営業・自由業）が54.7%と過半数を占め、「専業主婦」だった人が42.8%となっている。仕事をしてきた人の中では、「正社員：フルタイム勤務」(22.5%)が最も多く、次いで、「正社員以外：フルタイム勤務」(13.8%)、「正社員以外：パート勤務」(12.9%)となっている。正社員と正社員以外を合わせたフルタイム勤務と短時間・短日・パート勤務はそれぞれ36.3%と14.5%であり、フルタイムで働いていた人は短時間・短日・パート勤務で働いていた人の2.5倍多い。正社員と正社員以外の合計はそれぞれ24.1%と26.7%であり、正社員以外で働いていた人の方が若干多い。

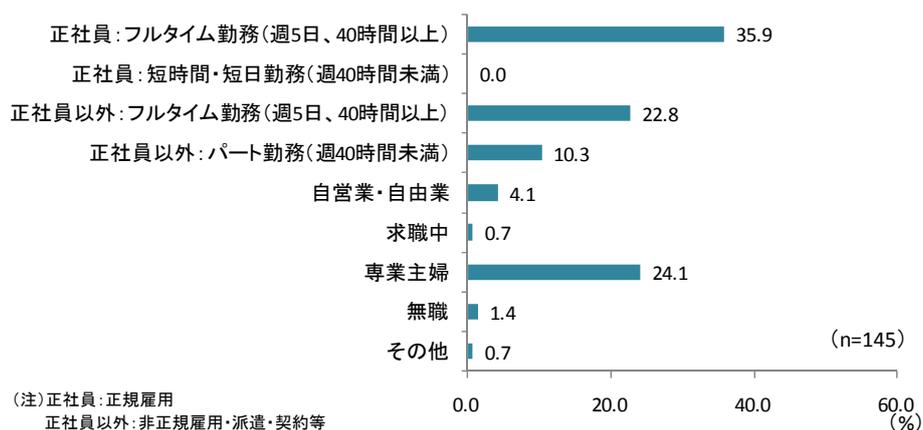
図 2-2a 末子を出産する直前（1年以内）の就労形態（単数回答）



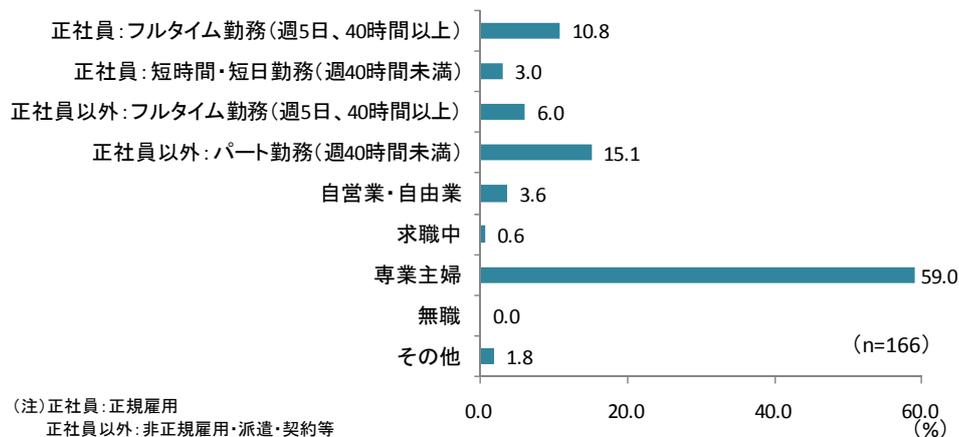
同居の子の人数別に末子を出産する直前（1年以内）の就労形態をみると、同居の子が1人（初めての子の出産直前）の方が、同居の子が2人以上（2人目以降の子の出産直前）よりも、働いていた割合が高い。働いていた人（正社員、正社員以外、自営業・自由業）の割合は、初めての子の出産直前は73.1%であるのに対し、2人目以降の子の出産直前は38.5%である。初めての子の出産直前は、「正社員：フルタイム勤務」（35.9%）が最も多く、「正社員以外：フルタイム勤務」（22.8%）と合わせてフルタイムで働いていた人は58.6%²と過半数を占めている。また、正社員で働いていた人（35.9%）の方が正社員以外で働いていた人（33.1%）よりもやや多い。一方、2人目以降の子の出産直前は、「専業主婦」（59.0%）が最も多く、フルタイムで働いていた人は正社員、正社員以外を合わせて16.9%³と少ない。また、正社員で働いていた人（13.9%⁴）よりも、正社員以外で働いていた人（21.1%）の方が多い。

図 2-2b 同居の子の人数別の末子を出産する直前（1年以内）の就労形態（単数回答）

<同居の子が1人（初めての子の出産直前）>



<同居の子が2人以上（2人目以降の子の出産直前）>



² I-3-3 参照。

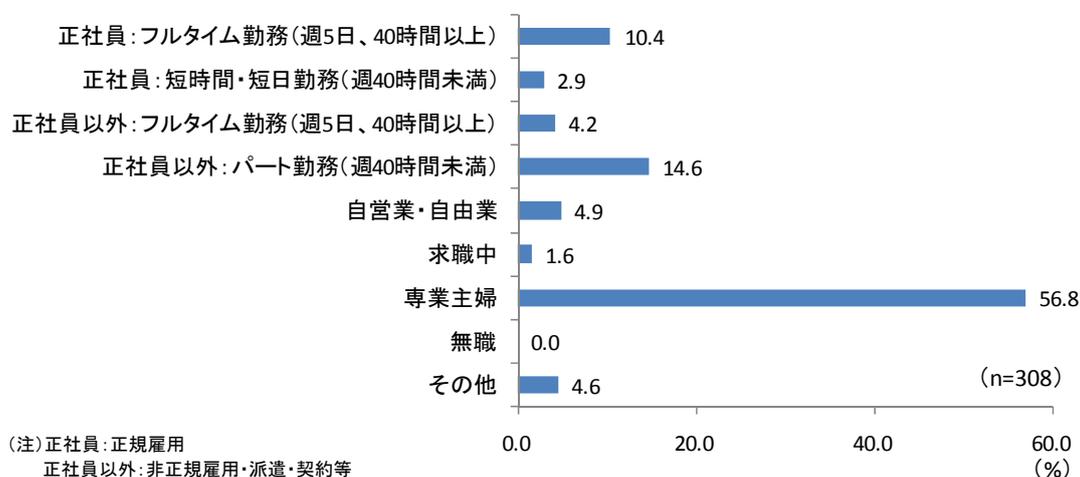
³ I-3-3 参照。

⁴ I-3-3 参照。

(3) 現在の就労形態〔Q10〕

現在の就労形態は、「専業主婦」が56.8%と過半数を占めており、末子を出産する直前の42.8%（図2-2a）よりも増えている。仕事をしている人（正社員、正社員以外、自営業・自由業）は37.0%であり、末子を出産する直前の54.7%よりも減っている。仕事をしている人の中では、「正社員以外：パート勤務」（14.6%）が最も多く、次いで、「正社員：フルタイム勤務」（10.4%）となっている。正社員と正社員以外の合計はそれぞれ13.3%と18.8%であり、正社員以外で働いている人の方が多い。フルタイム勤務と短時間・短日・パート勤務の合計はそれぞれ14.6%と17.5%であり、末子を出産する直前までとは逆に、フルタイムよりも短時間・短日・パートで働いている人の方が多い。

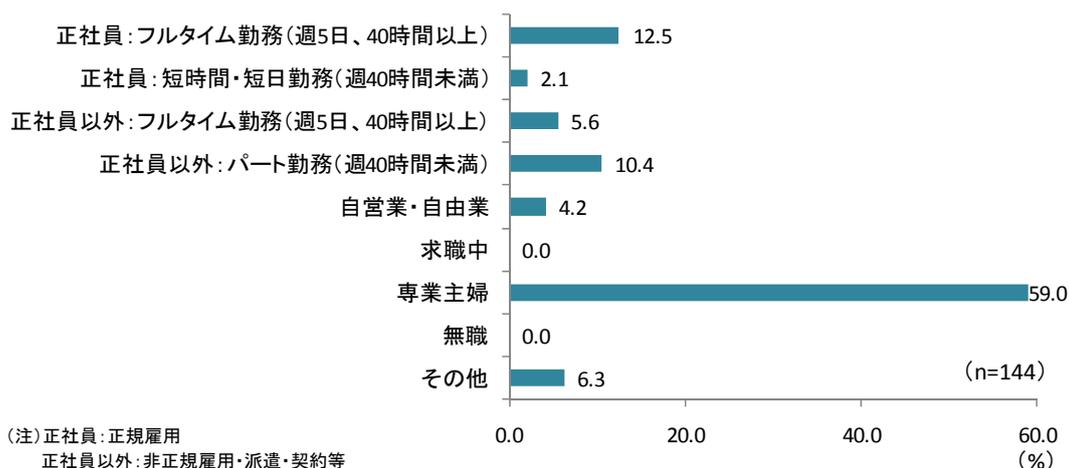
図2-3a 現在の就労形態（単数回答）



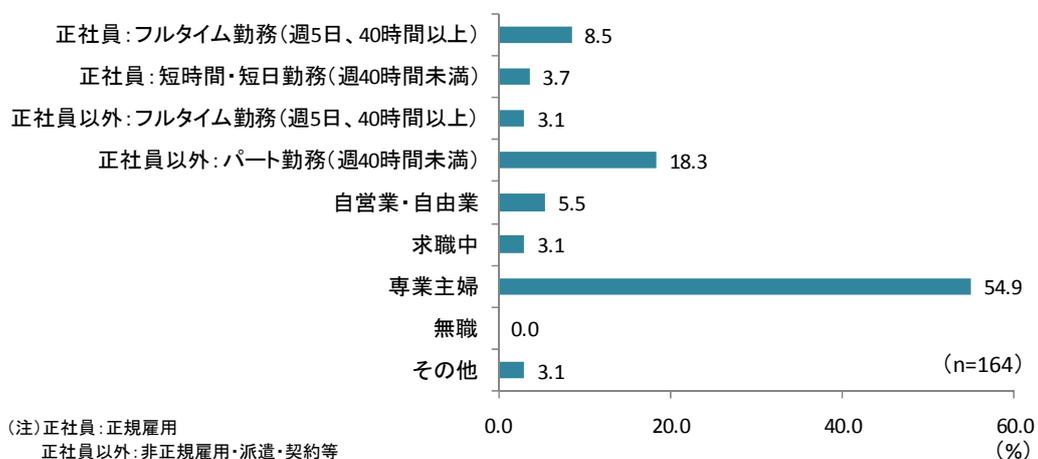
次に、同居の子の人数別に現在の就労形態をみると、同居の子が1人の場合も、2人以上の場合も、「専業主婦」が過半数を占め、それぞれ59.0%、54.9%となっている。同居の子が1人の場合と、同居の子が2人以上の場合の仕事をしている人（正社員、正社員以外、自営業・自由業）の割合は、それぞれ34.7%、39.0%である。図2-2bと見比べると、初めての子の出産前後（同居の子が1人）では、働いている人が73.1%から34.7%へと大幅に減少している一方で、2人目以降の子の出産前後（同居の子が2人以上）では、38.5%から39.0%へとほぼ変わっていない。同居の子が1人の場合も、2人以上の場合も、正社員よりも正社員以外で働いている人の割合が高いが、この傾向は、同居の子が2人以上の方が大きい。同居の子が1人の場合は、フルタイムで働いている人（18.1%）の方が、短時間・短日・パートで働いている人（12.5%）よりも多いが、同居の子が2人以上の場合は、フルタイムで働いている人（11.6%）よりも、短時間・短日・パートで働いている人（22.0%）の方が多い。

図2-3b 同居の子の人数別の現在の就労形態（単数回答）

<同居の子が1人（初めての子の出産後）>

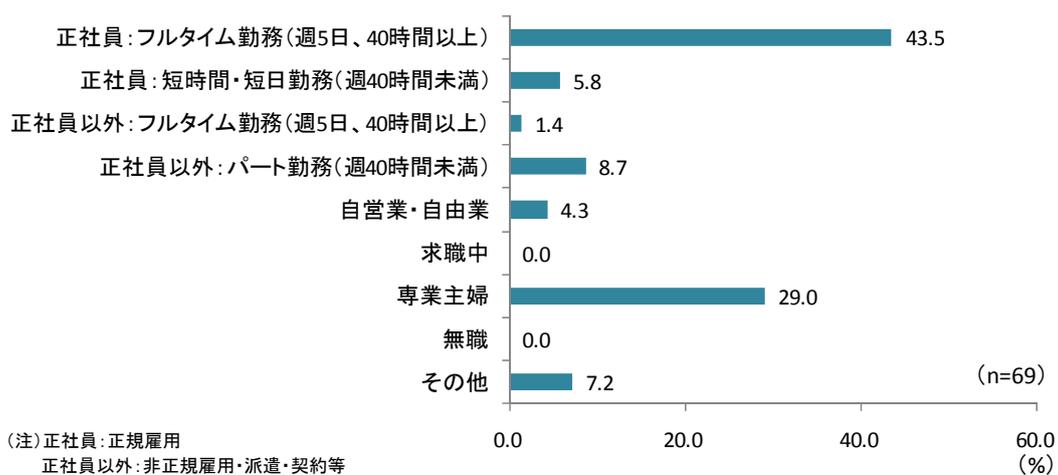


<同居の子が2人以上（2人目以降の子の出産後）>



さらに、末子を出産する直前（1年以内）は「正社員：フルタイム勤務」だった人の現在の就労形態をみると、現在も「正社員：フルタイム勤務」は43.5%であり、半数以上（56.5%）が、「正社員：フルタイム勤務」を辞めている。「正社員：フルタイム勤務」以外では、「専業主婦」（29.0%）が最も多く、末子の出産後は専業主婦になった人が約3割いる。次いで、「正社員以外：パート勤務」（8.7%）、「正社員：短時間・短日勤務」（5.8%）となっており、正社員のフルタイム勤務から、パートや短時間・短日勤務になった人が14.5%いる。

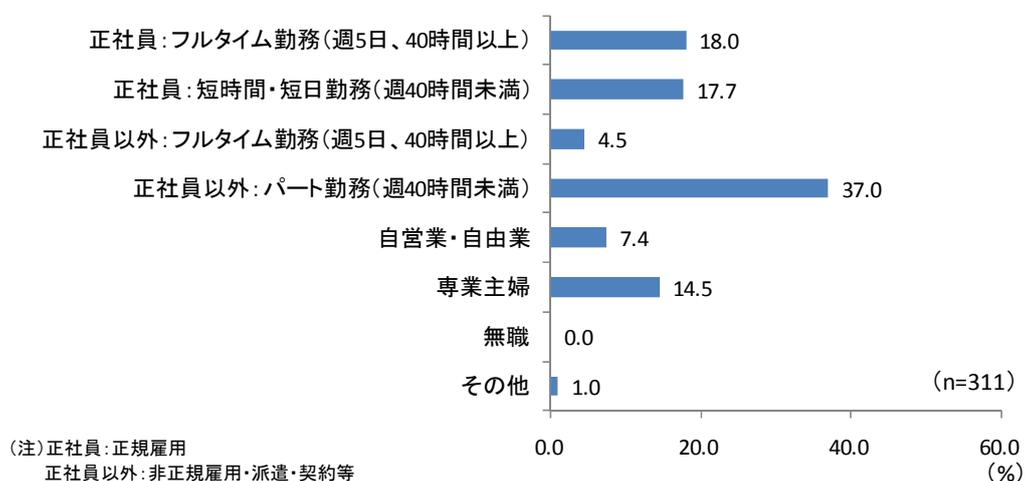
図 2-3c 末子の出産直前（1年以内）で正社員（フルタイム勤務）だった人の現在の就労形態（単数回答）



(4) 希望する就労形態【Q11】

希望する就労形態をみると、働くことを希望している人が84.6%と大多数を占めている。現在働いている人は37.0%（図2-3a）であるので、現在は働いていないが、働くことを希望している人が多いことがわかる。また、現在専業主婦の人は56.8%と過半数を占めているが、実際に「専業主婦」を希望している人は14.5%と大幅に少ない。希望する就労形態は、「正社員以外：パート勤務」（37.0%）が最も多く、次いで、「正社員：フルタイム勤務」（18.0%）、「正社員：短時間・短日勤務」（17.7%）となっている。正社員と正社員以外の合計はそれぞれ35.7%と41.5%であり、正社員よりも正社員以外を望む人の方が多い。フルタイム勤務と短時間・短日・パート勤務の合計はそれぞれ22.5%と54.7%であり、フルタイム勤務よりも短時間・短日・パート勤務を希望する人の方が2倍以上多い。

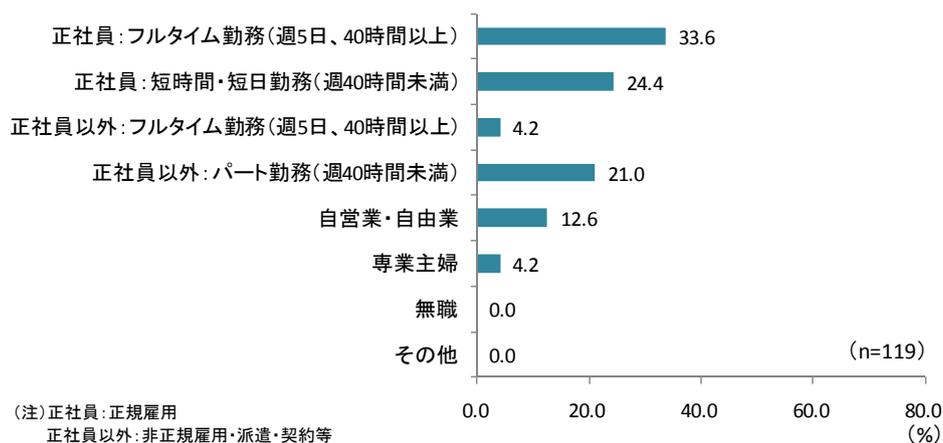
図2-4a 希望する就労形態（単数回答）



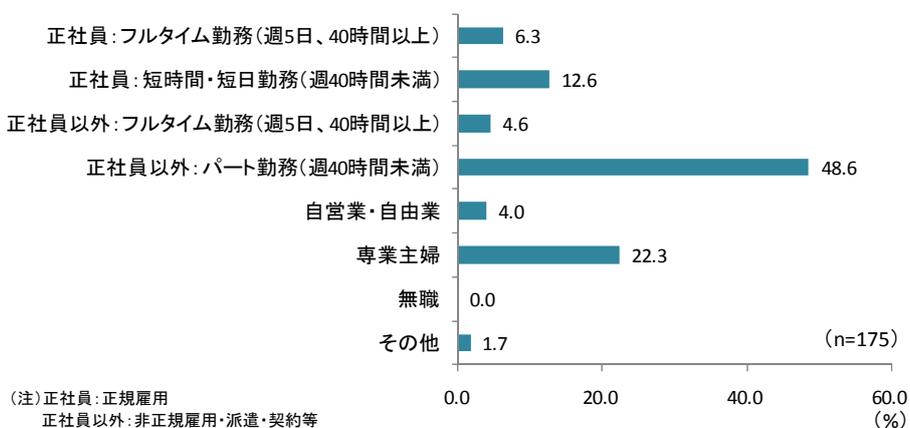
次に、希望する就労形態について、現在働いている（正社員、正社員以外、自営業・自由業）または求職中の人と現在専業主婦の人に関してみる。現在働いているまたは求職中の人希望する就労形態は、「正社員：フルタイム勤務」（33.6%）が最も多く、次いで、「正社員：短時間・短日勤務」（24.4%）、「正社員以外：パート勤務」（21.0%）の順となっている。正社員で働くことを希望する人（58.0%）は、正社員以外で働くことを希望する人（25.2%）の2倍以上多い。一方で、フルタイムで働きたい人（37.8%）よりも、短時間・短日・パートで働きたい人（45.4%）の方が多い。

現在専業主婦の人が希望する就労形態をみると、実際に「専業主婦」を希望している人は22.3%と少なく、76.0%⁵が働くことを希望している。希望する就労形態は、「正社員以外：パート勤務」（48.6%）が最も多く、次に多い「正社員：短時間・短日勤務」（12.6%）と合わせて約6割（61.1%⁶）がパートや短時間・短日勤務で働くことを希望している。また、約1割（10.9%）がフルタイムで働くことを希望している。

図 2-4b 現在働いているまたは求職中の人と現在専業主婦の人が希望する就労形態（単数回答）
 <現在働いているまたは求職中の人>



<現在専業主婦の人>



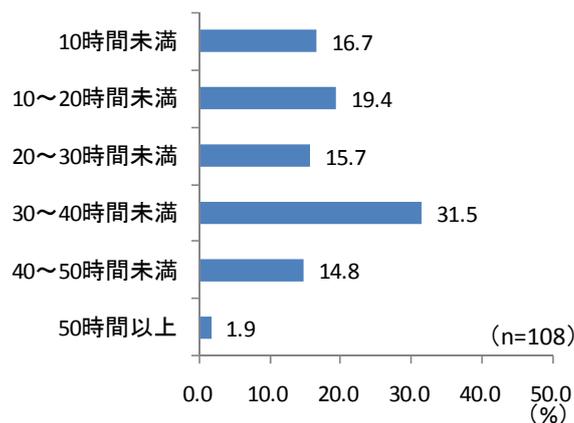
⁵ I-3-3 参照。

⁶ I-3-3 参照。

(5) 現在の1週間あたりの平均的な就労時間〔Q12〕

現在働いている人（正社員、正社員以外、自営業・自由業）の1週間あたりの平均的な就労時間は、「30～40時間未満」が31.5%と最も多く、次いで、「10～20時間未満」（19.4%）、「10時間未満」（16.7%）、「20～30時間未満」（15.7%）の順となっている。そして、これらを合わせた40時間未満が83.3%を占めている。

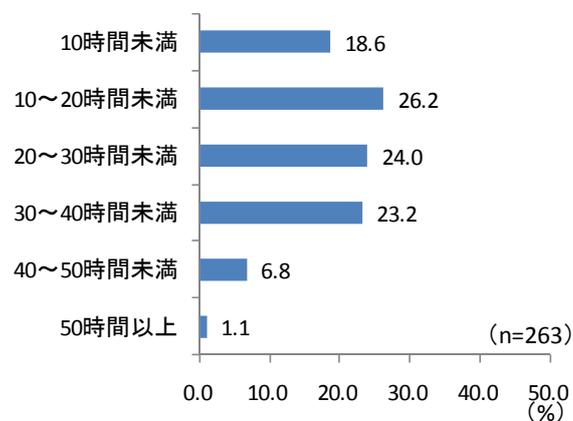
図2-5 現在の1週間あたりの平均的な就労時間（単数回答）



(6) 希望する1週間あたりの平均的な就労時間〔Q13〕

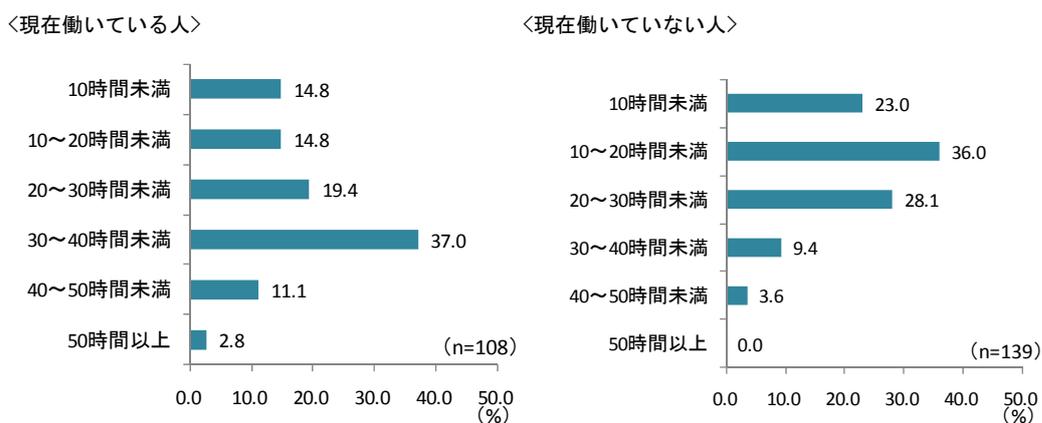
現在働いていない人の分も含めた希望する1週間あたりの平均的な就労時間は、「10～20時間未満」が26.2%と最も多く、次いで、「20～30時間未満」（24.0%）、「30～40時間未満」（23.2%）、「10時間未満」（18.6%）の順となっており、これらを合わせた40時間未満が9割以上（92.0%）を占めている。

図2-6a 希望する1週間あたりの平均的な就労時間（単数回答）



希望する1週間あたりの平均的な就労時間を、現在働いている人（正社員、正社員以外、自営業・自由業）と働いていない人（求職中、専業主婦、無職）にわけてみると、現在働いている人も、働いていない人も、40時間未満を希望する人が高い割合（それぞれ86.1%、96.4%）を占めているが、現在働いている人よりも、働いていない人の方が、希望する就労時間が短い傾向がある。現在働いている人は、「30～40時間未満」（37.0%）を希望する人が最も多いが、現在働いていない人は、「10～20時間未満」（36.0%）を希望する人が最も多い。

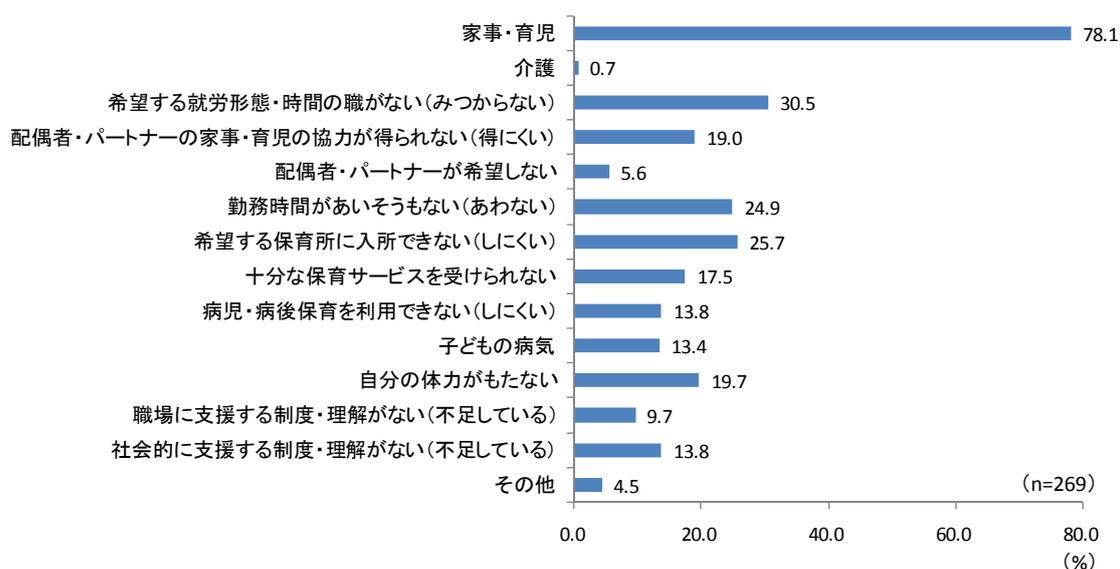
図 2-6b 希望する1週間あたりの平均的な就労時間（単数回答）



(7) 希望する就労形態・時間を実現できない理由〔Q14〕

現在の就労形態・時間と希望する就労形態・時間の異なる人に、希望する就労形態・時間を実現できない理由をたずねたところ、「家事・育児」が約8割（78.1%）と圧倒的に多い。次いで、「希望する就労形態・時間の職がない（みつからない）」（30.5%）、「希望する保育所に入所できない（しにくい）」（25.7%）、「勤務時間があいそうもない（あわない）」（24.9%）」の順となっている。保育関係では、その他、「十分な保育サービスを受けられない」が17.5%、「病児・病後保育を利用できない（しにくい）」が13.8%となっている。

図 2-7 希望する就労形態・時間を実現できない理由（複数回答）

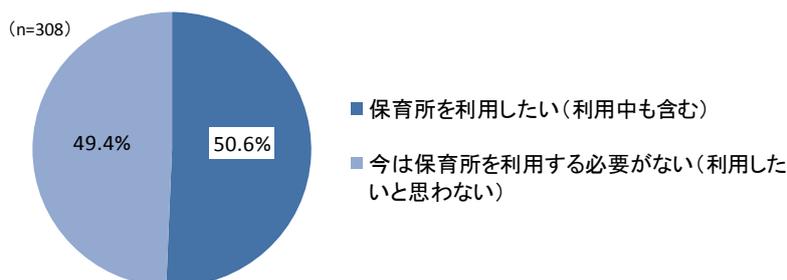


3. 末子の保育所の利用状況と希望

(1) 末子の保育所の利用状況と入所状況〔Q15〕

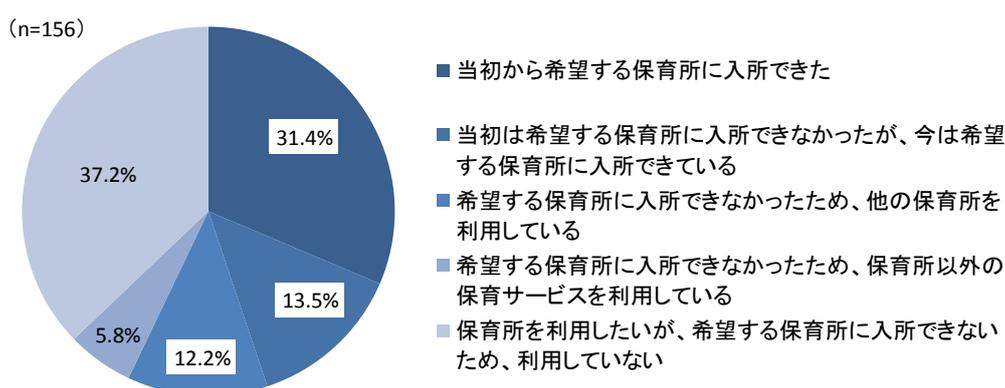
末子の保育所の利用状況については、「保育所を利用したい(利用中も含む)」⁷が 50.6%、「今は保育所を利用する必要がない(利用したいと思わない)」が 49.4%と、それぞれ約半数となっている。

図 3-1a 末子の保育所利用状況 (単数回答)



保育所を利用したい人(利用中の人も含む)の末子の保育所入所状況をみると、「保育所を利用したいが、希望する保育所に入所できないため、利用していない」(37.2%)が最も多い。「当初から希望する保育所に入所できた」(31.4%)と「当初は希望する保育所に入所できなかったが、今は希望する保育所に入所できている」(13.5%)を合わせると、現在希望する保育所に入所できている人は 44.9%と半数以下である。「希望する保育所に入所できなかったため、他の保育所を利用している」(12.2%)と「希望する保育所に入所できなかったため、保育所以外の保育サービスを利用している」(5.8%)を合わせると、希望する保育所に入所できないために他の保育所や保育サービスを利用している人は 17.9%⁸となっている。

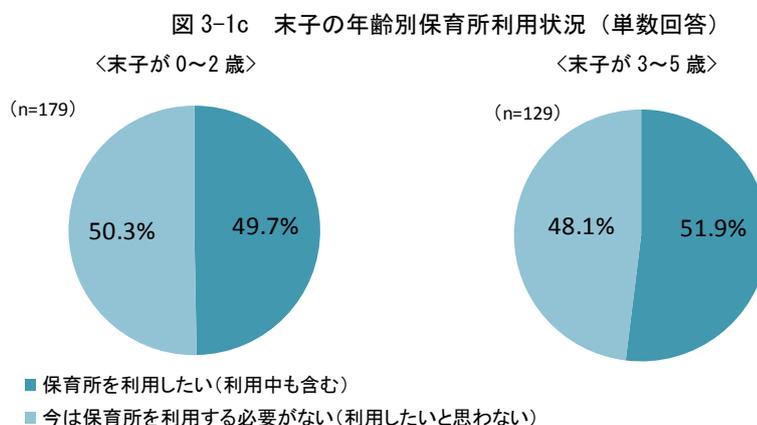
図 3-1b 保育所を利用したい人の末子の保育所入所状況 (単数回答)



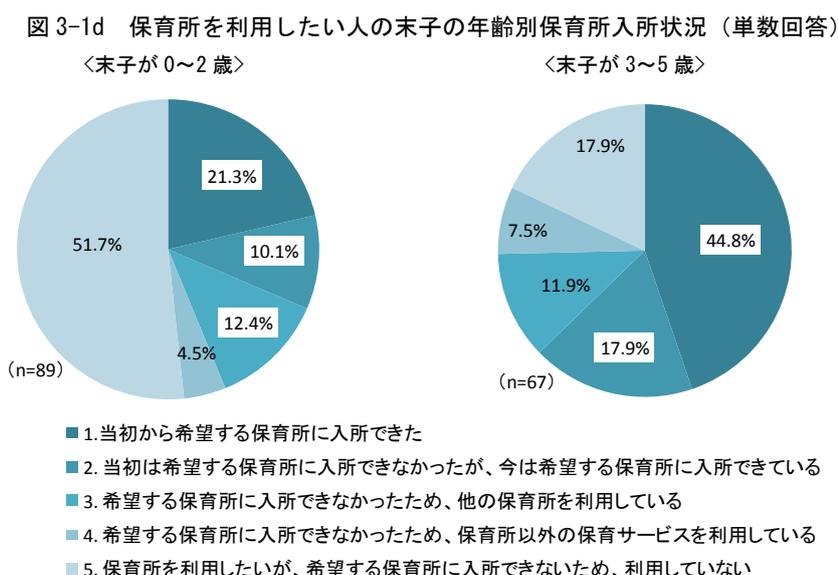
⁷ 「保育所を利用したい(利用中も含む)」は、調査票の Q15 で、「当初から希望する保育所に入所できた」、「当初は希望する保育所に入所できなかったが、今は希望する保育所に入所できている」、「希望する保育所に入所できなかったため、他の保育所を利用している」、「希望する保育所に入所できなかったため、保育所以外の保育サービスを利用している」、「保育所を利用したいが、希望する保育所に入所できないため、利用していない」(図 3-1b の回答項目)を合わせたものとしている。

⁸ I-3-3 参照。

末子の保育所の利用状況を、末子が0～2歳と3～5歳の場合にわけてみると、両グループとも、「保育所を利用したい（利用中も含む）」と、「利用する必要がない（利用したいと思わない）」が約半数ずつである。



保育所を利用したい人（利用中の人も含む）の保育所の入所状況を、末子が0～2歳と3～5歳の場合にわけてみると、0～2歳の方がより入所状況が厳しい。「当初から希望する保育所に入所できた」の割合は、3～5歳は44.8%であるのに対し、0～2歳は21.3%である。また、「当初は希望する保育所に入所できなかったが、今は希望する保育所に入所できている」と合わせると、現在希望する保育所に入所できている人の割合は、3～5歳は62.7%であるのに対し、0～2歳は31.5%⁹である。「保育所を利用したいが、希望する保育所に入所できないため、利用していない」の割合は、0～2歳では51.7%と過半数を占め、3～5歳の17.9%の2倍以上となっている。そして、希望する保育所に入所できなかったため、他の保育所や保育サービスを利用している人は、0～2歳では16.9%、3～5歳では19.4%となっている。

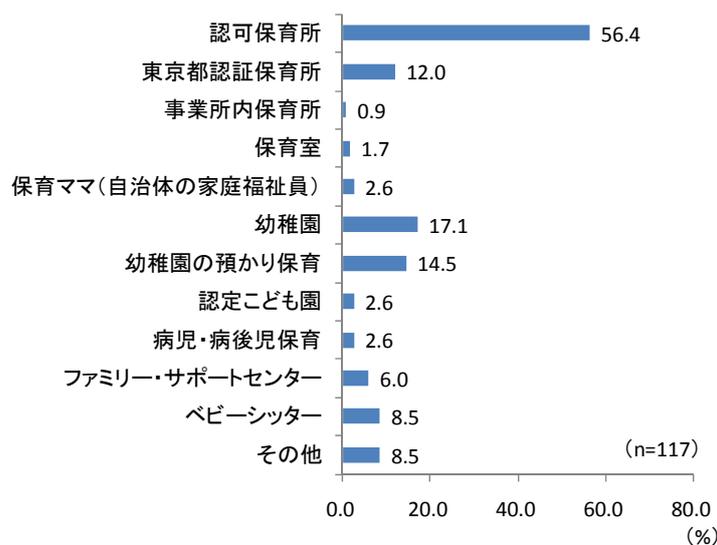


⁹ I-3-3 参照。

(2) 末子のために利用している保育所・保育サービス〔Q16a〕

現在、末子のために利用している保育所・保育サービスは、「認可保育所」が56.4%と最も多い。次いで、「幼稚園」(17.1%)、「幼稚園の預かり保育」(14.5%)、「東京都認証保育所」(12.0%)の順となっている。

図 3-2a 末子のために利用している保育所・保育サービス（複数回答）

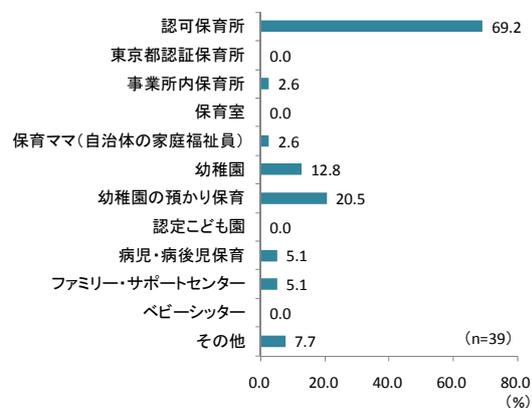
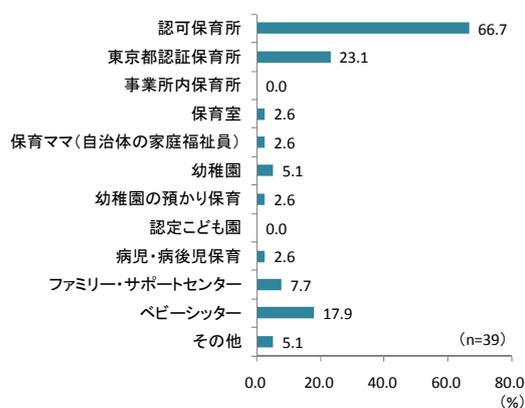


現在、末子のために利用している保育所・保育サービスを、現在、フルタイム（週5日、40時間以上）で働いている人と短時間・短日・パート（週40時間未満）で働いている人についてみると、「認可保育所」を利用している割合がそれぞれ66.7%と69.2%と、両グループとも最も多かった。しかし、2番目以降の順位には差がみられる。たとえば、2、3番目に多いのが、フルタイムで働いている人は「東京都認証保育所」(23.1%)、「ベビーシッター」(17.9%)となっているのに対し、短時間・短日・パートで働いている人は「幼稚園の預かり保育」(20.5%)、「幼稚園」(12.8%)となっている。

図 3-2b 現在フルタイム勤務と短時間・短日・パート勤務の人が末子のために現在利用している保育所・保育サービス（複数回答）

<現在フルタイム勤務（週5日、40時間以上）>

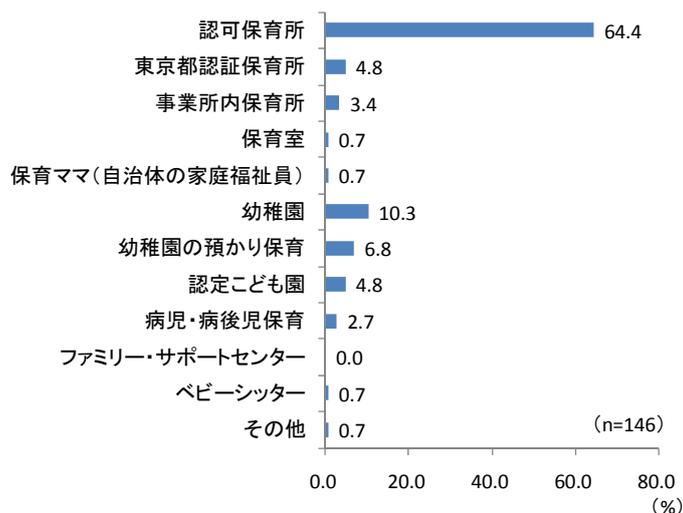
<現在短時間・短日・パート勤務（週40時間未満）>



(3) 末子のために最も希望する保育所・保育サービス〔Q16b〕

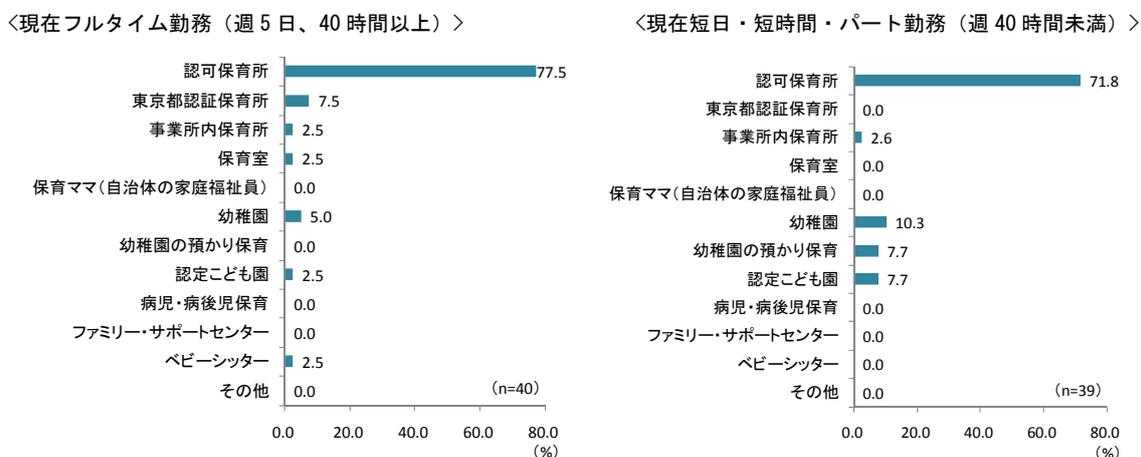
現在、末子のために最も希望する保育所・保育サービスについては、「認可保育所」が64.4%と際立って多い。次いで、「幼稚園」(10.3%)、「幼稚園の預かり保育」(6.8%)、「東京都認証保育所」と「認定こども園」(それぞれ4.8%)、「事業所内保育所」(3.4%)の順となっている。

図 3-3a 末子のために最も希望する保育所・保育サービス (単数回答)



現在、末子のために最も希望する保育所・保育サービスについて、現在、フルタイム(週5日、40時間以上)で働いている人と短時間・短日・パート(週40時間未満)で働いている人に関してみると、「認可保育所」がそれぞれ77.5%と71.8%と圧倒的に多い。しかし、2番目以降の希望順位には差がみられる。たとえば、2、3番目に希望が多いのが、フルタイムで働いている人は「東京都認証保育所」(7.5%)、「幼稚園」(5.0%)となっているのに対し、短時間・短日・パートで働いている人は「幼稚園」(10.3%)、「幼稚園の預かり保育」と「認定こども園」(それぞれ7.7%)となっている。

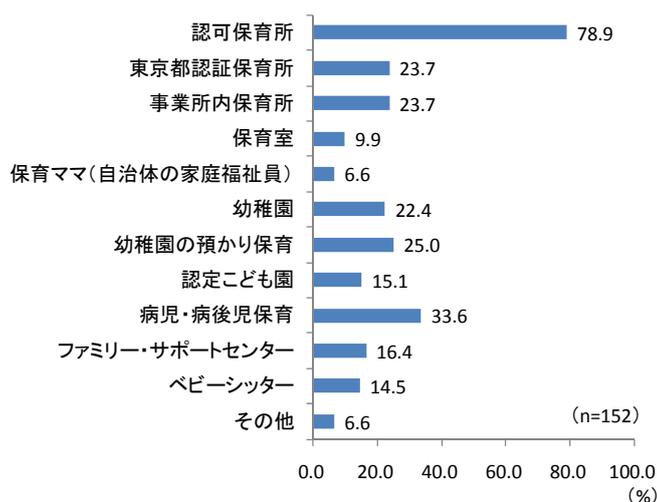
図 3-3b 現在フルタイム勤務と短時間・短日・パート勤務の人が末子のために最も希望する保育所・保育サービス (単数回答)



(4) 希望する育児と就労を実現するために必要な保育サービス〔Q16c〕

希望する育児と就労を実現するために必要な保育サービスについては、「認可保育所」と答えた人が約 8 割（78.9%）と突出して多い。次いで、「病児・病後児保育」（33.6%）、「幼稚園の預かり保育」（25.0%）、「東京都認証保育所」と「事業所内保育所」（それぞれ 23.7%）、「幼稚園」（22.4%）の順となっている。

図 3-4a 希望する育児と就労を実現するために必要な保育サービス（複数回答）

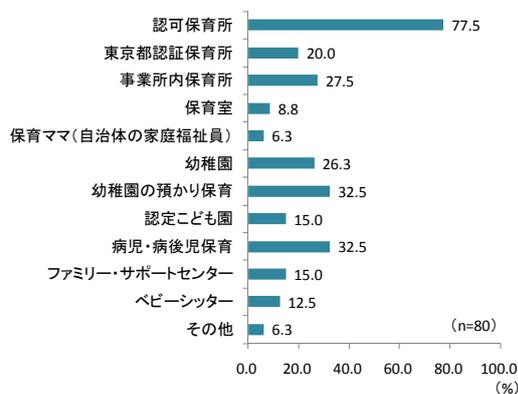
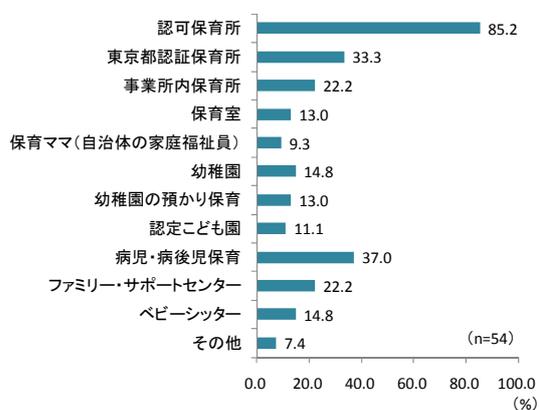


希望する育児と就労を実現するために必要な保育サービスについて、フルタイム（週 5 日、40 時間以上）で働くことを希望している人と、短時間・短日・パート（週 40 時間未満）で働くことを希望している人に関してみると、両グループとも「認可保育所」が格段に多い。フルタイムで働きたい人の 85.2%、短時間・短日・パートで働きたい人の 77.5%が、「認可保育所」を必要と答えている。しかし、2 番目以降の回答順位には差がみられる。2、3 番目に多いのは、フルタイムで働きたい人は「病児・病後児保育」（37.0%）、「東京都認証保育所」（33.3%）となっている一方で、短時間・短日・パートで働きたい人は「幼稚園の預かり保育」と「病児・病後児保育」（それぞれ 32.5%）となっている。

図 3-4b フルタイム勤務と短時間・短日・パート勤務を希望している人が希望する育児と就労を実現するために必要な保育サービス（複数回答）

<フルタイム勤務希望（週 5 日、40 時間以上）>

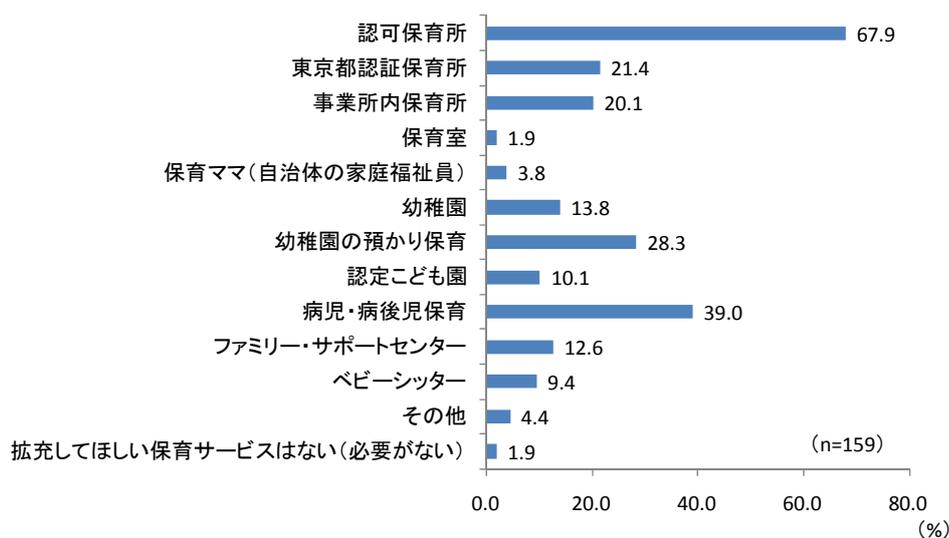
<短日・短時間・パート勤務希望（週 40 時間未満）>



(5) 育児と就労を両立するために拡充してほしい保育サービス〔Q17〕

育児と就労を両立するために拡充してほしい保育サービスについては、「認可保育所」が 67.9%と際立って多く、次いで、「病児・病後児保育」(39.0%)、「幼稚園の預かり保育」(28.3%)、「東京都認証保育所」(21.4%)、「事業所内保育所」(20.1%)の順となっている。

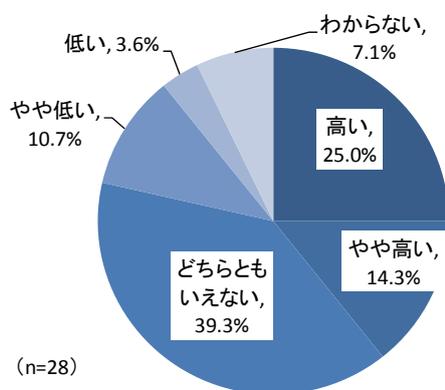
図 3-5 育児と就労を両立するために拡充してほしい保育サービス (3つ以内複数回答)



(6) 利用している保育所・保育サービスに対する希望する保育所の質〔Q18〕

希望する保育所に入所できなかったため、他の保育所・保育サービスを利用している人に、希望する保育所は、現在利用している保育所・保育サービスよりも質が高いかどうかをたずねたところ、「高い」(25.0%)または「やや高い」(14.3%)と答えた人(合計 39.3%)の方が、「低い」(3.6%)または「やや低い」(10.7%)と答えた人(合計 14.3%)よりも大幅に多い。

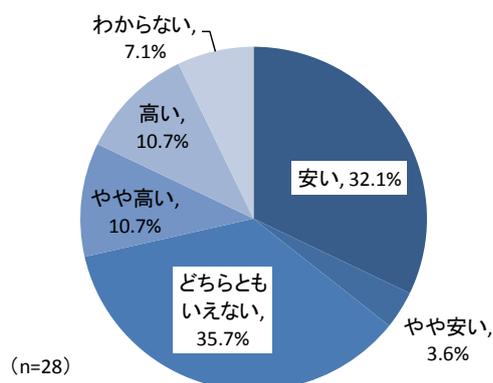
図 3-6 現在利用している保育所・保育サービスに対する希望する保育所の質 (単数回答)



(7) 利用している保育所・保育サービスに対する希望する保育所の保育料〔Q19〕

希望する保育所に入所できなかったため、他の保育所・保育サービスを利用している人に、希望する保育所は、現在利用している保育所・保育サービスよりも保育料が安いかどうかをたずねたところ、「安い」（32.1%）または「やや安い」（3.6%）と答えた人（合計 35.7%）の方が、「やや高い」（10.7%）または「高い」（10.7%）と答えた人（合計 21.4%）よりも多い。

図 3-7 現在利用している保育所・保育サービスに対する希望する保育所の保育料（単数回答）

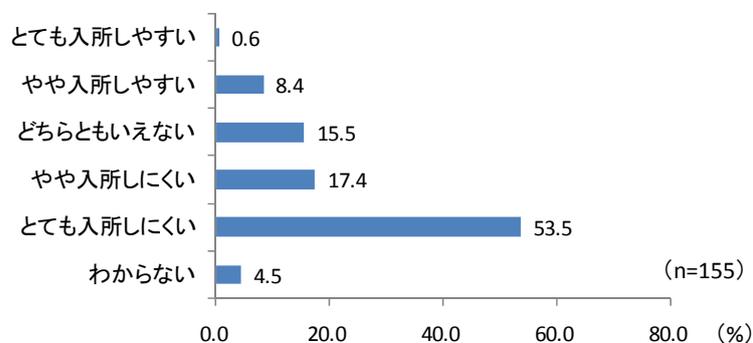


4. 保育所の入所可能性と待機児童期間の状況

(1) 居住地域の保育所の入所可能性〔Q20〕

保育所を利用したい人（利用中の人も含む）に、居住地域の保育所の入所しやすさについてたずねたところ、「とても入所しにくい」と答えた人が 53.5%と最も多く、「やや入所しにくい」の 17.4%と合わせて 71.0%¹⁰が入所しにくいと答えている。

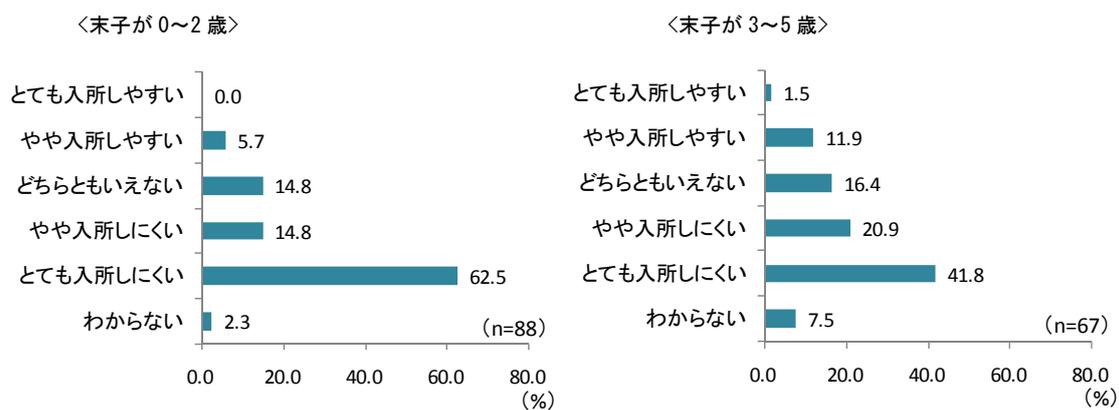
図 4-1a 居住地域の保育所の入所可能性（単数回答）



¹⁰ I-3-3 参照。

居住地域の保育所の入所しやすさについて、末子の年齢が 0~2 歳、3~5 歳の場合にわけてみると、0~2 歳の方が入所しにくいと答えた人の割合が高い。「とても入所しにくい」と「やや入所しにくい」と答えた人は、0~2 歳はそれぞれ 62.5%と 14.8%（合計 77.3%）、3~5 歳はそれぞれ 41.8%と 20.9%（合計 62.7%）となっている。

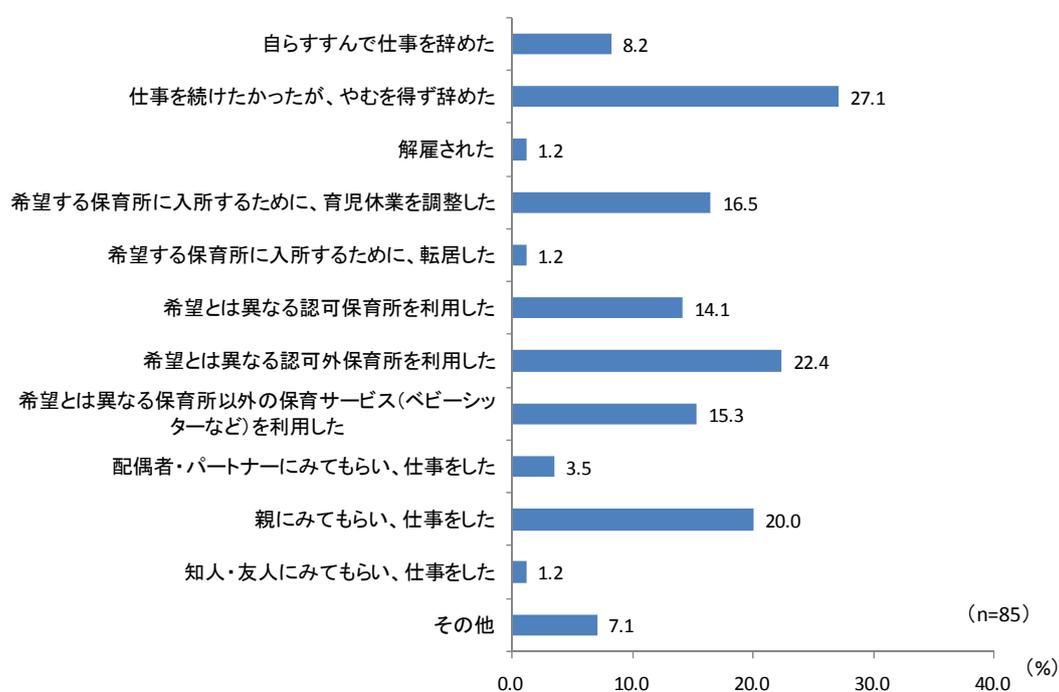
図 4-1b 末子の年齢別の居住地域の保育所入所可能性（単数回答）



(2) 待機児童期間の就労状況〔Q21〕

待機児童の経験がある人に、待機児童期間の状況についてたずねたところ、「仕事を続けたかったが、やむを得ず辞めた」と回答した人が 27.1%と最も多く、「解雇された」の 1.2%と合わせると、約 3 割 (28.2%¹¹) が意に反して離職している (この 2 つの回答項目には重複回答がない)。その他、回答割合の多い順に、「希望とは異なる認可外保育所を利用した」(22.4%)、「親にみてもらい、仕事をした」(20.0%)、「希望する保育所に入所するために、育児休業を調整した」(16.5%)、「希望とは異なる保育所以外の保育サービス (ベビーシッターなど) を利用した」(15.3%)、「希望とは異なる認可保育所を利用した」(14.1%) となっている。

図 4-2 待機児童期間の就労状況 (複数回答)

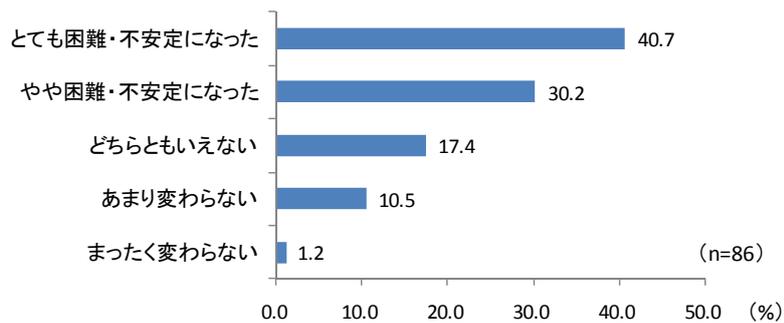


¹¹ I-3-3 参照。

(3) 待機児童期間の仕事と育児の両立状況〔Q22〕

待機児童の経験がある人に、待機児童の期間、待機児童とならなかった場合と比べて、仕事と育児の両立が困難・不安定になったかどうかをたずねたところ、「とても困難・不安定になった」が40.7%と最も多く、2番目に多い「やや困難・不安定になった」(30.2%)と合わせて70.9%が困難・不安定になったと答えている。

図 4-3 待機児童期間の仕事と育児の両立状況（単数回答）



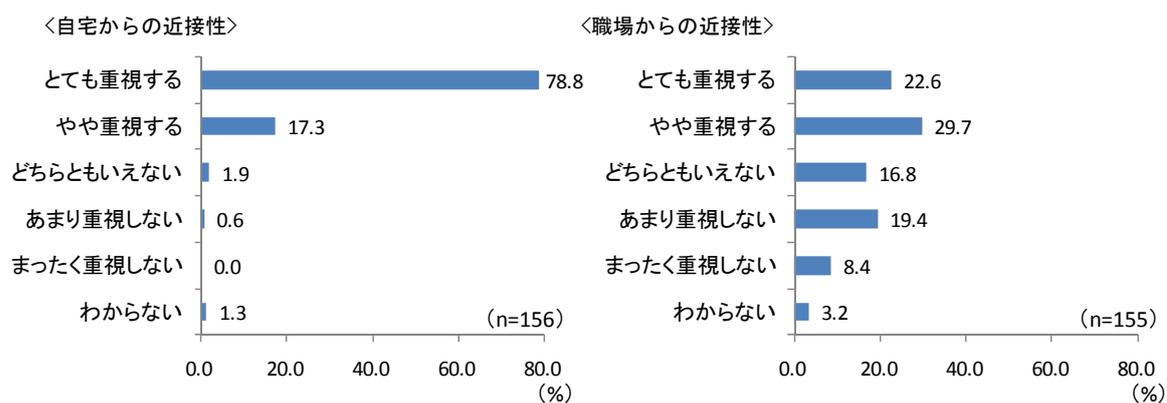
5. 保育所の自宅・職場からの近接性の重要度

(1) 保育所選定時における自宅・職場からの近接性の重要度〔Q23〕

保育所を利用したい人（利用中の人も含む）に、保育所を選定する際に、自宅からの近接性（アクセスしやすさ）を重視するかどうかについてたずねたところ、「とても重視する」と回答した人が約8割（78.8%）と最も多い。「やや重視する」の17.3%と合わせると96.2%¹²であり、ほとんどの人が自宅からの近接性を重視している。

保育所を利用したい人（利用中の人も含む）に、保育所を選定する際に、職場からの近接性（アクセスしやすさ）を重視するかどうかもたずねたところ、「やや重視する」と回答した人が約3割（29.7%）と最も多い。「とても重視する」の22.6%と合わせると52.3%であり、過半数の人が職場からの近接性を重視している。しかし、自宅からの近接性と比較すると、職場からの近接性を重視する人の割合は低い。

図 5-1 保育所選定時に自宅・職場からの近接性（アクセスしやすさ）を重視するかどうか（単数回答）



¹² I-3-3 参照。

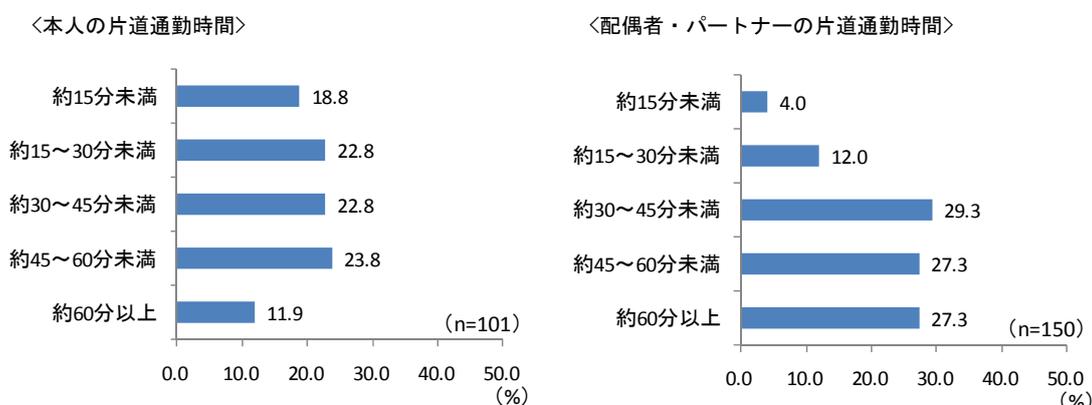
6. 通勤の片道所要時間と交通手段

(1) 本人と配偶者・パートナーの片道通勤時間〔Q24〕

回答者本人の片道通勤時間は、「約 15 分未満」、「約 15~30 分未満」、「約 30~45 分未満」、「約 45~60 分未満」がそれぞれ 2 割前後であり、「約 60 分以上」が 11.9%となっている。

配偶者・パートナーの片道通勤時間は、「約 30~45 分未満」、「約 45~60 分未満」、「約 60 分以上」がそれぞれ 3 割弱であり、本人よりも長い傾向がみられる。

図 6-1 本人と配偶者・パートナーの片道通勤時間（単数回答）

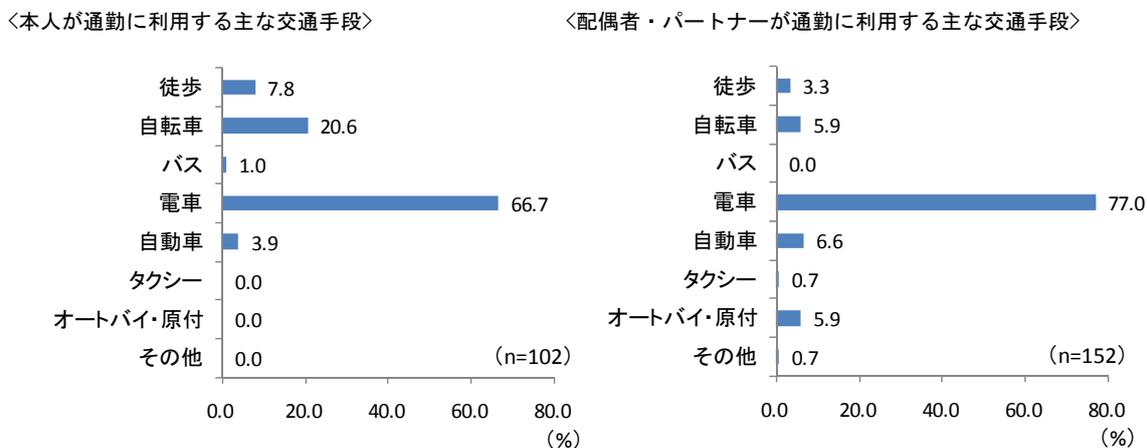


(2) 本人と配偶者・パートナーが通勤に利用する主な交通手段〔Q25〕

回答者本人が通勤に利用する主な交通手段は、「電車」(66.7%) が最も多い。次いで、「自転車」(20.6%)、「徒歩」(7.8%) の順となっている。

配偶者・パートナーが通勤に利用する主な交通手段は、「電車」(77.0%) が最も多く、次に、「自動車」(6.6%)、「自転車」と「オートバイ・原付」(それぞれ 5.9%) の順となっている。

図 6-2 本人と配偶者・パートナーが通勤に利用する主な交通手段（単数回答）

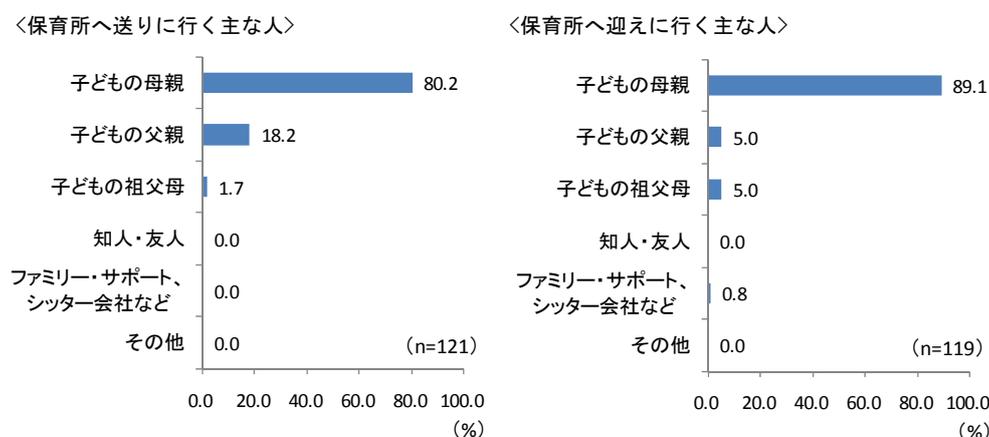


7. 保育所送迎の主な担当者、交通手段、片道所要時間の現状と希望

(1) 保育所送迎を主に担当する人〔Q26〕

保育所へ送りに行く主な人は、「子どもの母親」が約8割（80.2%）、「子どもの父親」が約2割（18.2%）である。子どもの母親と父親を合わせると98.3%¹³であり、保育所へ送る主な人のほとんどが子どもの両親となっている。保育所へ迎えに行く主な人は、「子どもの母親」が約9割（89.1%¹⁴）であり、送りに行く場合よりも割合が高い。次いで、「子どもの父親」と「子どもの祖父母」がそれぞれ5.0%となっている。

図7-1 保育所の送迎を主に担当する人（単数回答）

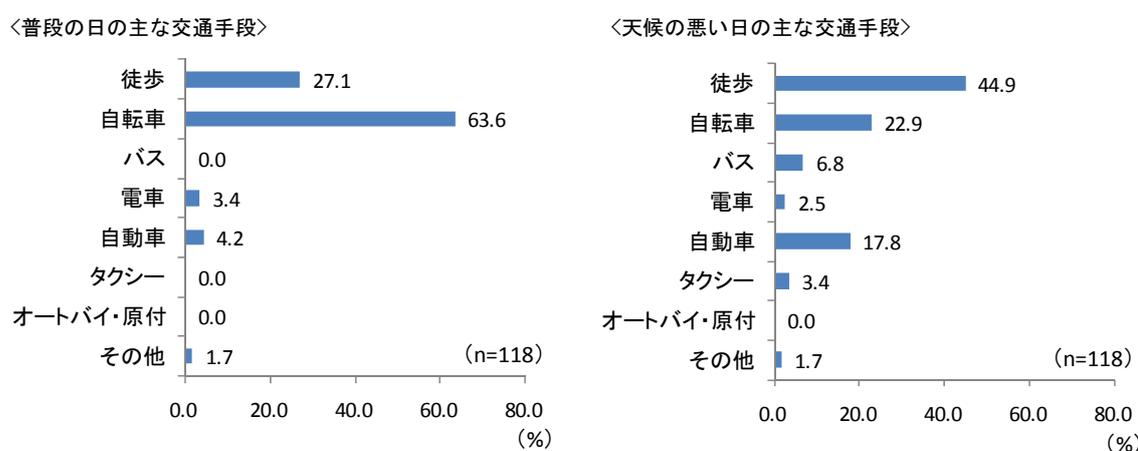


(2) 普段の日と天候の悪い日の保育所送迎に利用する主な交通手段〔Q27〕

普段の日の保育所送迎に利用する主な交通手段は、「自転車」が63.6%と最も多く、「徒歩」の27.1%がこれに次ぐ。そして自転車と徒歩で約9割（90.7%）を占めている。

雨の日など天候の悪い日に保育所送迎に利用する主な交通手段は、「徒歩」（44.9%）が最も多く、次いで、「自転車」（22.9%）、「自動車」（17.8%）の順となっている。

図7-2a 普段と天候の悪い日の保育所送迎に利用する主な交通手段（単数回答）



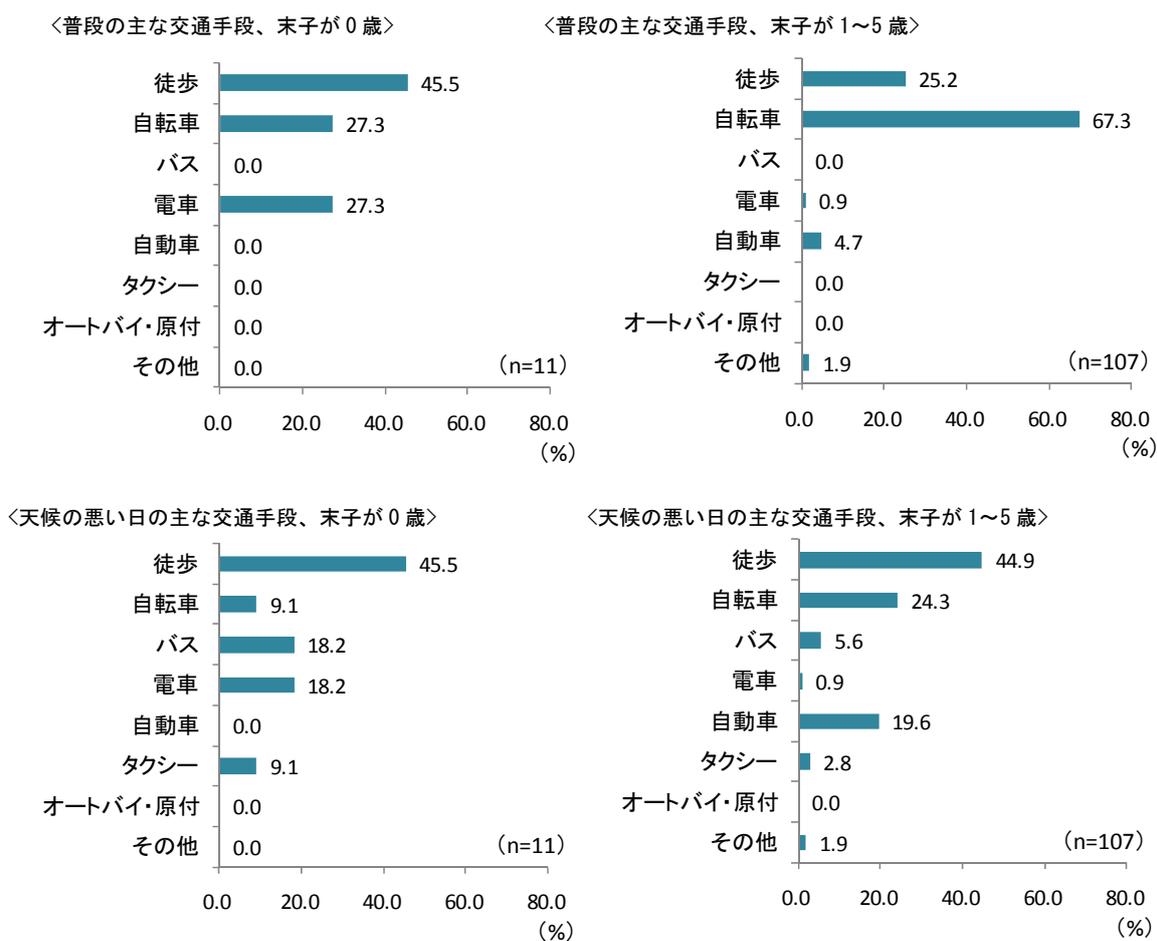
¹³ I-3-3 参照。

¹⁴ I-3-3 参照。

普段の日の保育所送迎に利用する主な交通手段について、0歳と1歳以上（1～5歳）にわけてみると、0歳のサンプル数が少ないことに留意する必要があるが、0歳では「徒歩」（45.5%）が最も多く、1歳以上では「自転車」（67.3%）が最も多い。

雨の日など天候の悪い日の保育所送迎に利用する主な交通手段について、0歳と1歳以上（1～5歳）にわけてみると、0歳のサンプル数が少ないことに留意する必要があるが、0歳、1歳以上ともに「徒歩」が最も多く、それぞれ45.5%と44.9%である。

図 7-2b 末子の年齢別の保育所送迎に利用する主な交通手段（単数回答）

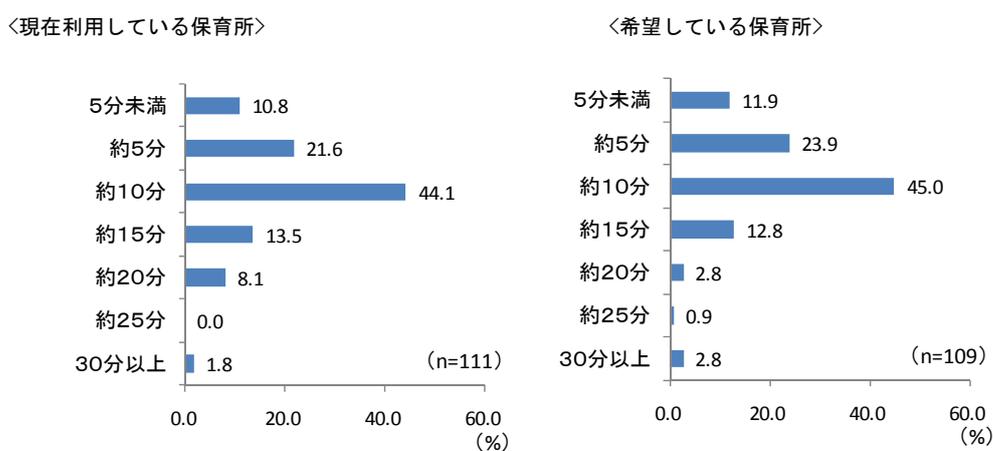


(3) 利用している保育所と希望している保育所の片道通所時間〔Q28〕

現在利用している保育所の片道通所時間は、「約 10 分」(44.1%) が最も多く、次が、「約 5 分」(21.6%) となっている。そして、約 15 分以内の合計が 90.1%、約 20 分以内の合計が 98.2%¹⁵を占めている。

現在希望している保育所の片道通所時間（利用している保育所と同じ場合は同じ片道通所時間）は、「約 10 分」(45.0%) が最も多く、次いで、「約 5 分」(23.9%) となっている。そして、約 15 分以内の合計が 93.6%、約 20 分以内の合計が 96.3%¹⁶となっている。

図 7-3a 現在利用している保育所と希望する保育所の片道通所時間（単数回答）

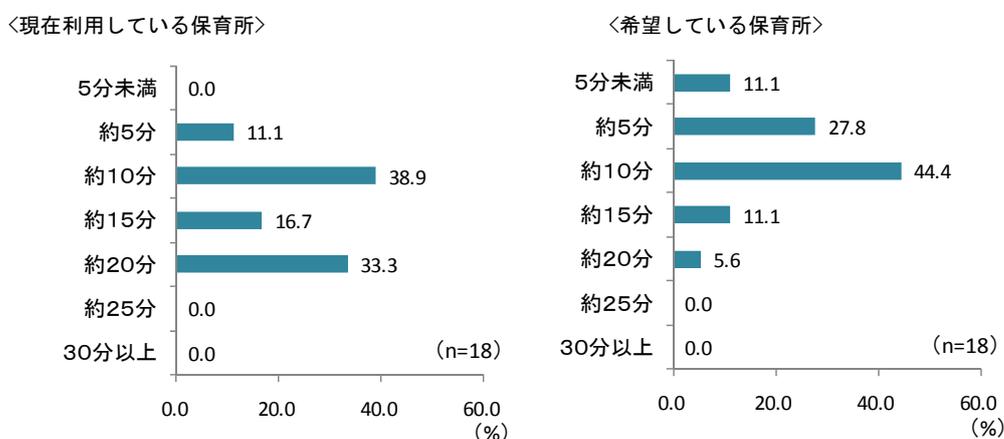


¹⁵ I-3-3 参照。

¹⁶ I-3-3 参照。

現在利用している保育所と希望している保育所の片道通所時間を、希望する保育所に入所できなかったため、他の保育所を利用している人についてみると、片道通所時間は、現在利用している保育所よりも、希望している保育所の方が短い傾向がある。片道通所時間が約10分以内の合計は、現在利用している保育所は50.0%であるが、希望している保育所は83.3%である。また、図7-3aと見比べると、希望する保育所に入所できなかったため、他の保育所を利用している人の現在利用している保育所の片道通所時間は長い傾向がみられる。片道通所時間が約20分以上の割合は、保育所を利用している人全体では約1割(9.9%)であるが、希望する保育所に入所できなかったため、他の保育所を利用している人の場合は3割以上(33.3%)となっている。

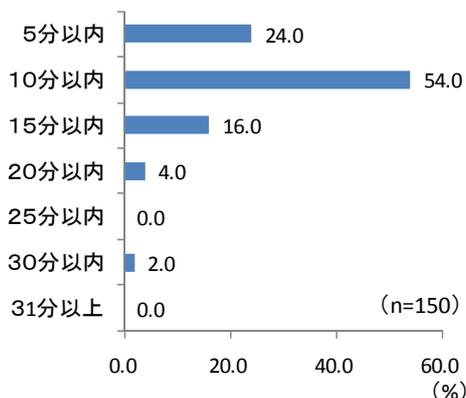
図7-3b 希望する保育所に入所できなかったため、他の保育所を利用している人の現在利用している保育所と希望する保育所の片道通所時間（単数回答）



(4) 現実的で望ましい保育所の片道通所時間【Q29】

保育所の送迎にかかる、現実的で望ましい片道通所時間は何分以内かについてたずねたところ、「10分以内」と回答した人が54.0%と最も多く、次いで、「5分以内」(24.0%)、「15分以内」(16.0%)となっている。そして、15分以内の合計が94.0%、20分以内の合計が98.0%を占めている。

図7-4 保育所の送迎にかかる現実的で望ましい片道通所時間（単数回答）



Ⅲ. アンケート調査票

■「仕事と子育ての両立に関するアンケート」

Q1. あなたの性別をお答えください。(ひとつだけ)

- 男性
- 女性

Q2. あなたの年齢をお答えください。(ひとつだけ)

- 25歳未満
- 25～29歳
- 30～34歳
- 35～39歳
- 40～44歳
- 45歳以上

Q3. あなたのお住まいの市区町村をお答えください。(ひとつだけ)

- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|---------------------------|--------------------------------|
| <input type="radio"/> 千代田区 | <input type="radio"/> 墨田区 | <input type="radio"/> 渋谷区 | <input type="radio"/> 板橋区 |
| <input type="radio"/> 中央区 | <input type="radio"/> 江東区 | <input type="radio"/> 中野区 | <input type="radio"/> 練馬区 |
| <input type="radio"/> 港区 | <input type="radio"/> 品川区 | <input type="radio"/> 杉並区 | <input type="radio"/> 足立区 |
| <input type="radio"/> 新宿区 | <input type="radio"/> 目黒区 | <input type="radio"/> 豊島区 | <input type="radio"/> 葛飾区 |
| <input type="radio"/> 文京区 | <input type="radio"/> 大田区 | <input type="radio"/> 北区 | <input type="radio"/> 江戸川区 |
| <input type="radio"/> 台東区 | <input type="radio"/> 世田谷区 | <input type="radio"/> 荒川区 | <input type="radio"/> 東京都23区以外 |

Q4. よろしければ、あなたのお住まい郵便番号をお答えください。(例:113-0033)
(半角数字でご記入ください)

- 答えたくない

Q5. 同居されているお子様の人数をおうかがいします。(ひとつだけ)

- 同居している子どもはいない
- 1人
- 2人
- 3人以上

Q6. お子様がいいらっしゃる方は、末子(一番年齢が下のお子様)の年齢をお答えください。(ひとつだけ)

- 0歳
- 1歳
- 2歳
- 3歳
- 4歳
- 5歳
- 6歳以上

Q7. 配偶者・パートナーとの同居状況について、あてはまるものをお選びください。
(ひとつだけ)

- 配偶者・パートナーと同居している
- 配偶者・パートナーと同居していない
- 配偶者・パートナーはいない
- 答えたくない

Q8. 配偶者・パートナーがいらっしゃる方は、配偶者・パートナーの就労形態をお答えください。(ひとつだけ)

- 正社員(正規雇用):フルタイム勤務(週5日、40時間以上)
- 正社員(正規雇用):短時間・短日勤務(週40時間未満)
- 正社員以外(非正規雇用・派遣・契約等):フルタイム勤務(週5日、40時間以上)
- 正社員以外(非正規雇用・派遣・契約等):パート勤務(週40時間未満)
- 自営業・自由業
- 求職中
- 専業主夫
- 無職
- その他・該当しない

Q9. 末子を出産する直前(1年以内)のあなたの就労形態をお答えください。(ひとつだけ)

- 正社員(正規雇用):フルタイム勤務(週5日、40時間以上)
- 正社員(正規雇用):短時間・短日勤務(週40時間未満)
- 正社員以外(非正規雇用・派遣・契約等):フルタイム勤務(週5日、40時間以上)
- 正社員以外(非正規雇用・派遣・契約等):パート勤務(週40時間未満)
- 自営業・自由業
- 求職中
- 専業主婦
- 無職
- その他

Q10. あなたの現在の就労形態をお答えください。(ひとつだけ)

- 正社員(正規雇用):フルタイム勤務(週5日、40時間以上)
- 正社員(正規雇用):短時間・短日勤務(週40時間未満)
- 正社員以外(非正規雇用・派遣・契約等):フルタイム勤務(週5日、40時間以上)
- 正社員以外(非正規雇用・派遣・契約等):パート勤務(週40時間未満)
- 自営業・自由業
- 求職中
- 専業主婦
- 無職
- その他

Q11. あなたの希望する就労形態をお答えください。(ひとつだけ)

- 正社員(正規雇用):フルタイム勤務(週5日、40時間以上)
- 正社員(正規雇用):短時間・短日勤務(週40時間未満)
- 正社員以外(非正規雇用・派遣・契約等):フルタイム勤務(週5日、40時間以上)
- 正社員以外(非正規雇用・派遣・契約等):パート勤務(週40時間未満)
- 自営業・自由業
- 専業主婦
- 無職
- その他

Q12. あなたの現在の1週間あたりの就労時間をお答えください。(ひとつだけ)

平均して、1週間 時間

- 働いていない
- わからない

- ▽以下から選択
- ▽以下から選択
- ～5時間未満
- 5～10時間未満
- 10～15時間未満
- 15～20時間未満
- 20～25時間未満
- 25～30時間未満
- 30～35時間未満
- 35～40時間未満
- 40～45時間未満
- 45～50時間未満
- 50～55時間未満
- 55時間以上

Q13. あなたが希望する1週間あたりの就労時間をお答えください。(ひとつだけ)

平均して、1週間 時間

- 働くことを希望していない
- わからない

Q14. 現在の就労形態・時間と希望する就労形態・時間の異なる方は、希望する就労形態・時間を実現できない理由として、あてはまるものをお選びください。(いくつでも)

- 家事・育児
- 介護
- 希望する就労形態・時間の職がない(みつからない)
- 配偶者・パートナーの家事・育児の協力が得られない(得にくい)
- 配偶者・パートナーが希望しない
- 勤務時間がありそうもない(あわない)
- 希望する保育所に入所できない(しにくい)
- 十分な保育サービスを受けられない
- 病児・病後保育を利用できない(しにくい)
- 子どもの病気
- 自分の体力がもたない
- 職場に支援する制度・理解がない(不足している)
- 社会的に支援する制度・理解がない(不足している)
- その他(具体的に:)

Q15. 末子の保育所の入所状況について、あてはまるものをお選びください。(ひとつだけ)

- 当初から希望する保育所に入所できた
- 当初は希望する保育所に入所できなかったが、今は希望する保育所に入所できている
- 希望する保育所に入所できなかったため、他の保育所を利用している
- 希望する保育所に入所できなかったため、保育所以外の保育サービスを利用している
- 保育所を利用したいが、希望する保育所に入所できないため、利用していない
- 今は保育所を利用する必要がない(利用したいと思わない)

Q16. 保育所・保育サービスについてうかがいます。下記にあげる状況ごとにお答えください。

	認可保育所	東京都認証保育所	事業所内保育所	保育室	保育ママ(自治体の家庭福祉員)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認定こども園	病児・病後児保育	ファミリー・サポートセンター	ベビーシッター	その他	わからない・該当しない
a.現在、末子のために利用している保育所・保育サービス (いくつでも)	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
b.現在、末子のために最も希望する保育所・保育サービス (ひとつだけ)	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>											
c.あなたが希望する育児と就労を実現するために必要な保育サービス (いくつでも)	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											

Q17. 育児と就労を両立するために、拡充してほしい保育サービスをお答えください。
(3つ以内)

- 認可保育所
- 東京都認証保育所
- 事業所内保育所
- 保育室
- 保育ママ(自治体の家庭福祉員)
- 幼稚園
- 幼稚園の預かり保育
- 認定こども園
- 病児・病後児保育
- ファミリー・サポートセンター
- ベビーシッター
- その他(具体的に:)
- 拡充してほしい保育サービスはない(必要がない)

Q18. 希望する保育所に入所できなかったため、他の保育所・保育サービスを利用している方におうかがいします。希望する保育所は、現在利用している保育所・保育サービスよりも質が高いですか。(ひとつだけ)

- 高い
- やや高い
- どちらともいえない
- やや低い
- 低い
- わからない・該当しない

Q19. 希望する保育所に入所できなかったため、他の保育所・保育サービスを利用している方におうかがいします。同等の利用量の場合、希望する保育所は、現在利用している保育所・保育サービスよりも保育料が安いですか。(ひとつだけ)

- 安い
- やや安い
- どちらともいえない
- やや高い
- 高い
- わからない・該当しない

Q20. あなたがお住まいの地域では、希望する保育所に入所しやすいですか。(ひとつだけ)

- とても入所しやすい
- やや入所しやすい
- どちらともいえない
- やや入所ににくい
- とても入所ににくい
- わからない・該当しない

Q21. 待機児童(希望する保育所に入りたくても入れない状況)を経験されている(された)方は、待機児童の期間の状況について、あてはまるものをお答えください。(いくつでも)

- 自らすすんで仕事を辞めた
- 仕事を続けたかったが、やむを得ず辞めた
- 解雇された
- 希望する保育所に入所するために、育児休業を調整した
- 希望する保育所に入所するために、転居した
- 希望とは異なる認可保育所を利用した
- 希望とは異なる認可外保育所を利用した
- 希望とは異なる保育所以外の保育サービス(ベビーシッターなど)を利用した
- 配偶者・パートナーにみてもらい、仕事をした
- 親にみてもらい、仕事をした
- 知人・友人にみてもらい、仕事をした
- その他
- 該当しない(待機児童を経験していない)

Q22. 待機児童(希望する保育所に入りたくても入れない状況)を経験されている(された)方は、待機児童の期間、待機児童とならなかった場合と比べて、仕事と育児の両立が困難・不安定になりましたか。あてはまるものをお答えください。(ひとつだけ)

- とても困難・不安定になった
- やや困難・不安定になった
- どちらともいえない
- あまり変わらない
- まったく変わらない
- 該当しない(待機児童を経験していない)

Q23. 保育所を選定する際に、以下の点をどの程度、重視しますか。(それぞれひとつずつ)

		とても重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	まったく重視しない	わからない・該当しない
自宅からの近接性(アクセスしやすさ)	→	<input type="radio"/>					
職場からの近接性(アクセスしやすさ)	→	<input type="radio"/>					

Q24. 現在の片道通勤時間をお答えください。(それぞれひとつずつ)

		5分未満	約5分	約10分	約15分	約20分	約25分	約30分	約35分	約40分	約45分	約50分	約55分	60分以上	わからない・該当しない
あなたの片道通勤時間	→	<input type="radio"/>													
配偶者・パートナーの片道通勤時間	→	<input type="radio"/>													

Q25. 通勤に利用する主な交通手段をお答えください。(それぞれひとつずつ)

		徒歩	自転車	バス	電車	自動車	タクシー	オートバイ・原付	その他	わからない・該当しない
あなたの通勤時の交通手段	→	<input type="radio"/>								
配偶者・パートナーの通勤時の交通手段	→	<input type="radio"/>								

Q26. 保育所への送迎を主になさる方はどなたですか。(それぞれひとつずつ)

		子どもの母親	子どもの父親	子どもの祖父母	知人・友人	ファミリー・サポート シッター会社など	その他	わからない・該当しない
保育所へ送る方	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
保育所へ迎えに行く方	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				

Q27. 保育所の送迎に利用している交通手段についてうかがいます。
(それぞれひとつずつ)

	徒歩	自転車	バス	電車	自動車	タクシー	オートバイ・原付	その他	わからない・該当しない
心だんの主な交通手段 →	<input type="radio"/>								
雨の日など天候の悪い日の主な交通手段 →	<input type="radio"/>								

Q28. 保育所の送迎にかかる片道あたりの時間についてうかがいます。以下にあげる状況についてお答えください。(それぞれひとつずつ)

	5分未満	約5分	約10分	約15分	約20分	約25分	30分以上	わからない・該当しない
現在利用している保育所の送迎にかかる、片道通所時間 →	<input type="radio"/>							
現在希望している保育所の送迎にかかる、片道通所時間 (現在利用している保育所と、希望する保育所が同じの場合は、前問と同じ時間をご記入ください) →	<input type="radio"/>							

Q29. 保育園の送迎にかかる、現実的で望ましい片道通所時間は、何分以内だと思いますか。(ひとつだけ)

- 5分以内
- 10分以内
- 15分以内
- 20分以内
- 25分以内
- 30分以内
- 31分以上
- わからない・該当しない